

## 国際教育活動—JICA 研修「障がいのある子どものための授業づくり 2017」

2017年11月20日(月)から12月15日(金)にかけて課題別研修「障害のある子どものための授業づくり 2017」を行いました。ケニア、レソト、フィジー、ミャンマー、ベトナム、アフガニスタン、サモア、ソロモン諸島、モンゴル、パラオの10カ国から12名の研修員が参加しました。

研修内容は、特別支援教育に関する講義、筑波大学特別支援学校5校の視察、守谷市大井沢小学校の視察、教材・教具に関わるワークショップなどを行いました。附属学校等の見学では、日本の特別支援学校の実践を見るだけでなく、児童生徒との関わる機会もあり、研修員たちからも子どもたちの生き生きした姿が印象的とのコメントもいただきました。研修を通して、それぞれ成果品として、自国の個別指導計画のブラッシュアップと帰国後のアクションプランを作成しました。今後の活動が期待されます。

### <研修の様子>

#### (1) 特別支援教育に関する講義、演習

日本における特別支援教育の制度、インクルーシブ教育、個別の指導計画、自立活動、アセスメントなどの講義だけでなく、教材や授業づくりに関する演習なども行いました。



【障害科学域 岡崎先生によるアセスメントの講義】



【教材指導法データベースの教材に触れて体験しました】

#### (2) 筑波大学特別支援学校、公立小学校の視察

附属特別支援学校5校を訪問し、実際の指導の参観や授業検討会で意見交換などを行いました。また、茨城県守谷市内の小学校も訪問しました。



【調理実習の参観(視覚)】



【算数科授業研究(聴覚)】



【自立活動の参観(桐が丘)】